

出水に備え『斐伊川水防演習』を実施します。

18年7月豪雨本番で実施した水防団と「災対協」の見事な連携も再現！

記者発表資料

近年、気候変動の影響などもあって記録的集中豪雨が多発し大規模な洪水災害が全国各地で起きています。ここ斐伊川流域でも平成18年の7月豪雨では、県都松江市が浸水し、流域の各地で甚大な被害が発生したことは記憶に新しいところです。

国土交通省、島根県及び斐伊川沿川の出雲市、雲南市、斐川町は、こうした出水の際に迅速かつ的確な水防活動を行ない、災害の発生を未然に防止し、又は被害を最小限に食い止めることができるよう備えるため、水防技術の修練と志気高揚を図ることを目的に『斐伊川水防演習』を毎年行っています。

本年は、6月5日（土）に出雲市武志町の斐伊川左岸河川敷において実施します。

この度の演習では、斐伊川の水防活動において必要となる代表的な水防工法や地元斐伊川オリジナルの「出雲結い工」の他、18年7月豪雨の際、地元建設業者で組織する「災害対策協力会」と水防団との見事な連携により堤防の崩壊を食い止めた工法の再現もします。また、被災現場での活躍する「排水ポンプ車」「照明車」の設営訓練も実施します。

会場にはこの他、一般見学者の皆様にも参加いただけるコーナーも設けております。

この演習は、平成元年に第1回目を実施して以来、今回で16回目になります。

平成22年 5月28日

国土交通省 出雲河川事務所

国土交通省 斐伊川・神戸川

総合開発工事事務所

島根県 雲南県土整備事務所

島根県 出雲県土整備事務所

出 雲 市

雲 南 市

斐 川 町

発表記者クラブ名

県政記者会・出雲市政記者クラブ

問 合 せ 先

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

副所長(技術) 溝 山 勇

建設専門官 錦 織 正

Tel 0853-21-1850

平成22年度「斐伊川水防演習」の特徴について

○ 水防団員の技術の習得を重点にした実践的演習内容としています。

工程と作業内容を理解し、必要な労力の量や必要な資器材を把握できるよう準備工から完成まで通して行う演習内容としています。

工法に必要な資機材も予め必要量用意することなく、各班の判断で資材や道具の選定・調達を行います。工法の理解度が試される場所です。

準備工では、基本作業である「土のう作り」「杭ごしらえ」「ロープワーク」をマスターします。

○ 「水防専門家」「防災エキスパート」が指導に加わり技術習得を支援します。

「水防専門家派遣制度」により2名の水防専門家が参加。また、河川に精通した「防災エキスパート」も6名配置、「出雲結い工」の指導者も含め9人の指導者がきめ細かく指導にあたります。

○ 地元水防団と「災害対策協力会」が連携した作業を行います。

建設機械を保有する「斐伊川水系災害対策協力会」(災対協・地元有志の建設会社で組織)が、地域の水防団が行う水防活動を支援する場面を想定した演習を行います。

今回は、現場で漏水対策を実施する水防団に災対協が土のうを供給する他、18年7月豪雨の時見事な連携により実現した対策工法の再現(後述)をします。

○ 工法のやり方や使用材料を時代に即した形で実演します。

「改良積み土のう工」は、土のうとブルーシートだけでできるよう工夫された工法です。従来の「積み土のう工」に比べて鉄筋や間詰め土が不要なため作業の省力化・迅速化が図れるほか、コンクリート護岸や舗装した場所など鉄杭を打ち込めないところでも有効です。

また、各工法に由来から使用してきた「わら縄」や「番線」などの資材は近年あまりなじみがなく取扱いに不慣れです。誰でも扱いやすく調達も容易なナイロンロープや竹の代わりとなる単管パイプなどの資材も応用します。

また、地元企業が開発した土のう製造器「ビー・ビー・ワーカー」も使用します。土のうづくりは大変重労働ですが、この器具を使用すると従来より少ない人員で数倍早く土のうを作ることができます。

○ 斐伊川オリジナルの伝統工法「出雲結い工」を実演します。

「出雲結い工」は、天井川で砂河川である斐伊川の特性を巧に利用した破堤後の応急堤防締切工です。先人達が生み出した知恵と技術を受け継ぐため「出雲結い工」は毎年実施しています。

○ 18年の豪雨災害本番で実施した堤防の応急崩壊対策工法を再現します。

平成18年7月豪雨の際に斐川町出西地区において漏水による堤防の陥没が発生しました。そのまま放置すると堤防の決壊にもつながる恐れがあります。

この時、地元水防団は漏水が拡大しないよう直ちに「月の輪工」を実施、その後、水防団の人海戦術と災対協の建設機械が協力して陥没箇所の補強を行い堤防の崩壊をくい止めました。

この時実施した対策工法を今回実演してみます。

○ 家庭にある身近な材料を使ってできる水防工法について講習します。

各家庭での浸水対策として『家庭でできる「簡易水防工法」コーナー』を設け、ゴミ袋や段ボール箱、ブルーシートなど身近にある材料でできる水防工法について講習します。

このコーナーは、一般見学者の皆様にも積極的にご参加いただき防災への備えとしていただきたく、今回から設けました。

○ 災害現場で活躍する「排水ポンプ車」「照明車」の訓練をします。

近年、「排水ポンプ車」や「照明車」などの特殊作業機械の活躍ぶりが全国各地の災害現場において注目されています。

「排水ポンプ車」は、堤防の民地側に溜まった水(内水)による浸水被害を軽減するため強制的に河川に排水する機械で、出雲河川事務所では、これを2台保有しています。

また、夜間の水防活動を支援する照明車は、今年度新たに1台導入し2台になりました。

今回、排水ポンプ車の設営訓練と、照明車は今年度配備したブームタイプのものを運転します。

平成22年度（第16回） 斐伊川水防演習

実 施 要 領

1. 目 的

洪水による被害の発生を未然に防止し、又は、被害を最小限に食い止めるためには、関係機関が密接な連携のもと、迅速かつ的確な水防活動を行うことが必要である。

国土交通省・島根県・水防管理団体をはじめとする関係機関は、水防工法の訓練を行い技術の習得・錬磨を図るとともに、水防に携わる職員・団体の志気の高揚に資することを目的に、斐伊川水防演習を開催するものである。

2. 主 催

国土交通省 出雲河川事務所
〃 斐伊川・神戸川総合開発工事事務所
島 根 県 雲南県土整備事務所
〃 出雲県土整備事務所
出 雲 市
雲 南 市
斐 川 町

3. 協 賛

斐伊川水系災害対策協力会
(社)中国建設弘済会 島根支部

4. 来 賓

島根県河川課長
出雲警察署長
出雲市消防本部 消防長
雲南消防本部 消防長
斐伊川水系災害対策協力量長
(社)中国建設弘済会 島根支部長

5. 開催日時

平成22年6月5日（土） 9時00分～12時00分

6. 開催場所

出雲市武志町地先 斐伊川左岸高水敷 （10k000付近）

7. 参加機関

出雲市水防団
雲南市水防団
斐川町水防団
島根県 雲南県土整備事務所
〃 出雲県土整備事務所
斐伊川水系災害対策協力会
国土交通省 出雲河川事務所
〃 斐伊川・神戸川総合開発工事事務所
(社)中国建設弘済会 島根支部

8. 組織及び事務分掌

【演習本部】 演習全体の総括
本部長：出雲河川事務所長
副本部長：斐伊川・神戸川事務所長
〃：雲南県土整備事務所長
〃：出雲県土整備事務所長
〃：出雲市長
〃：雲南市長
〃：斐川町長
本部付：出雲河川事務所 防災情報課長

【演習進行部】 演習の運営・広報
部長：出雲河川事務所（技）副所長
進行部付：出雲河川事務所 河川管理課長

【演習実施部】 演習の実施
部長：出雲河川事務所（技）副所長
副本部長：雲南県土整備事務所 維持管理部長
〃：出雲県土整備事務所 土木工務部長
実施部付：出雲市水防団長
雲南市長水防団長
斐川町水防団長

工法指導

水防専門家（2名）
防災エキスパート（6名）
出雲結い工指導者（1名）

統括指揮者

出雲市水防団 副団長

第1班	出雲市出雲方面隊水防班（月の輪工）	24名
第2班	出雲市出雲方面隊水防班（釜段工）	24名
第3班	出雲市佐田方面隊水防班（木流し・竹流し工）	20名
第4班	出雲市多伎方面隊水防班（木流し・竹流し工）	20名
第5班	雲南市長加茂方面隊水防班（積み土のう工）	25名
第6班	雲南市長木次方面隊水防班（シート張り工）	25名
第7班	雲南市長三刀屋方面隊水防班（改良積み土のう工）	20名
第8班	斐川町水防班（シート張り工）	25名
第9班	島根県雲南県土整備事務所水防班（積み土のう工）	27名
第10班	島根県出雲県土整備事務所水防班（月の輪工）	20名
第11班	斐伊川水系災害対策協力会水防班（出雲結い工）	15名
第12班	斐伊川水系災害対策協力会水防班 （崩壊・陥没応急対策工、建設機械支援）	10名
第13班	国土交通省水防班（改良積み土のう工、崩壊・陥没応急対策工）	19名
第14班	国土交通省水防班（排水ポンプ車・照明車）	7名

9. 演習日程

8 : 3 0 ~	(準 備)		
9 : 0 0 ~	(開 会 式)		
	開 会 の 辞 主 催 者 挨 拶	出 雲 河 川 事 務 所 長 (演 習 本 部 長) 出 雲 市 長 (開 催 地 首 長)	
9 : 2 0 ~	(演 習)		
	準 備 工	全 班	
	演 習 (前 半)	第 6 班 ・ 第 8 班 第 3 班 ・ 第 4 班 第 5 班 ・ 第 9 班 第 7 班 ・ 第 13 班 第 12 班 ・ 第 13 班	シ ー ト 張 り 工 木 流 し 工 ・ 竹 流 し 工 積 土 の う 工 改 良 積 土 の う 工 崩 壊 ・ 陥 没 応 急 対 策 工 建 設 機 械 支 援
	演 習 (後 半)	第 1 班 ・ 第 10 班 第 2 班 第 14 班	月 の 輪 工 釜 段 工
	演 習 (通 し)	第 11 班	排 水 ポ ン プ 車 ・ 照 明 車 出 雲 結 い 工
1 1 : 1 5 ~	(工 法 視 察)		
1 1 : 5 0 ~	(閉 会 式)		
	講 評 閉 会 の 辞 解 散	島 根 県 河 川 課 長 12:00	

10. 参加人員

出雲市水防団	88名
雲南市水防団	70名
斐川町水防団	25名
島根県雲南県土整備事務所	27名
〃 出雲県土整備事務所	20名
斐伊川水系災害対策協力会	25名
国土交通省出雲河川事務所	21名
〃 斐伊川・神戸川 総合開発工事事務所	5名
工法指導者	9名
来賓・役員他関係機関参加者	48名
計	338名

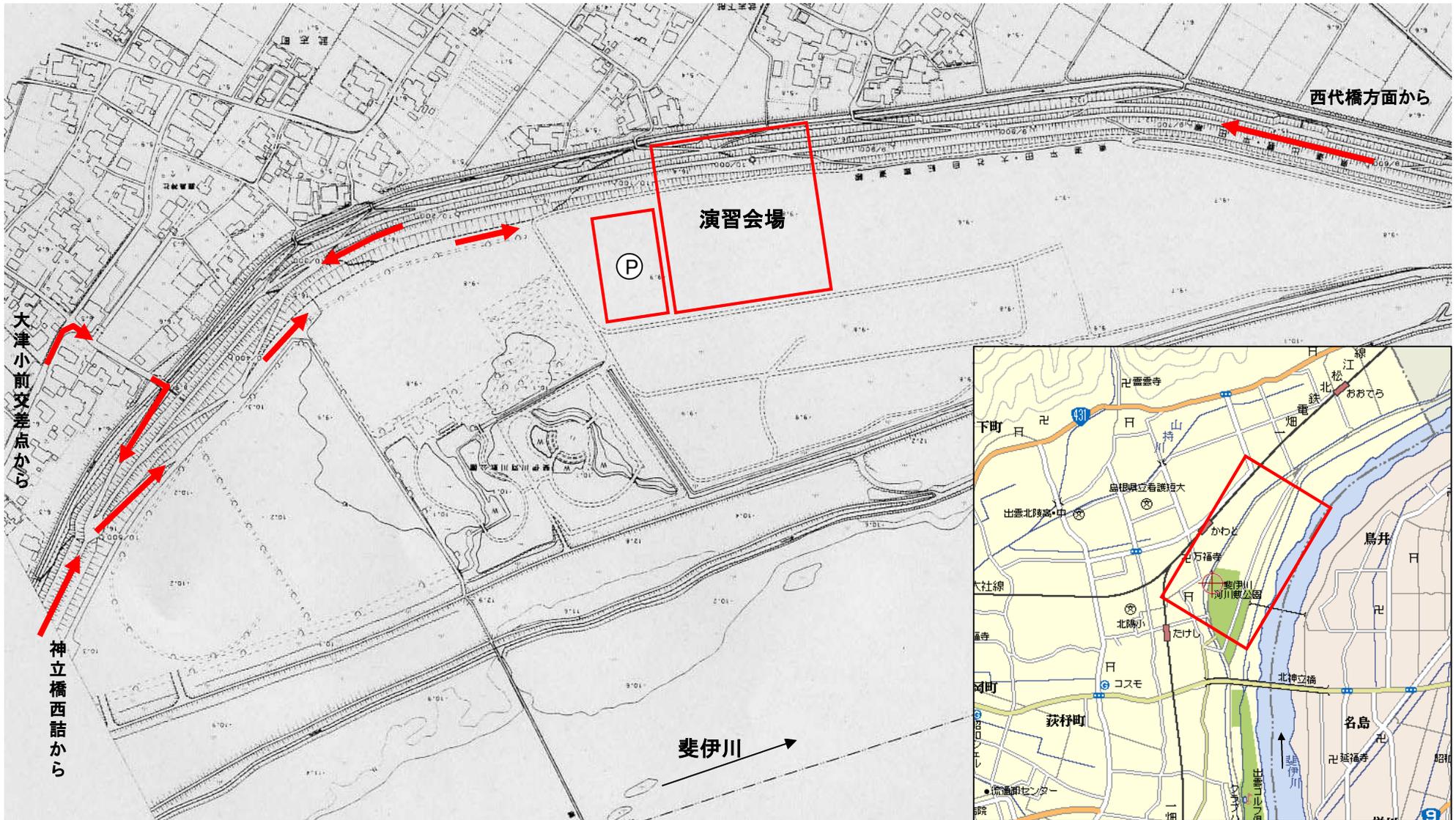
11. 演習の進行

別紙「平成22年度斐伊川水防演習日程」のとおり。

12. 演習会場の位置等

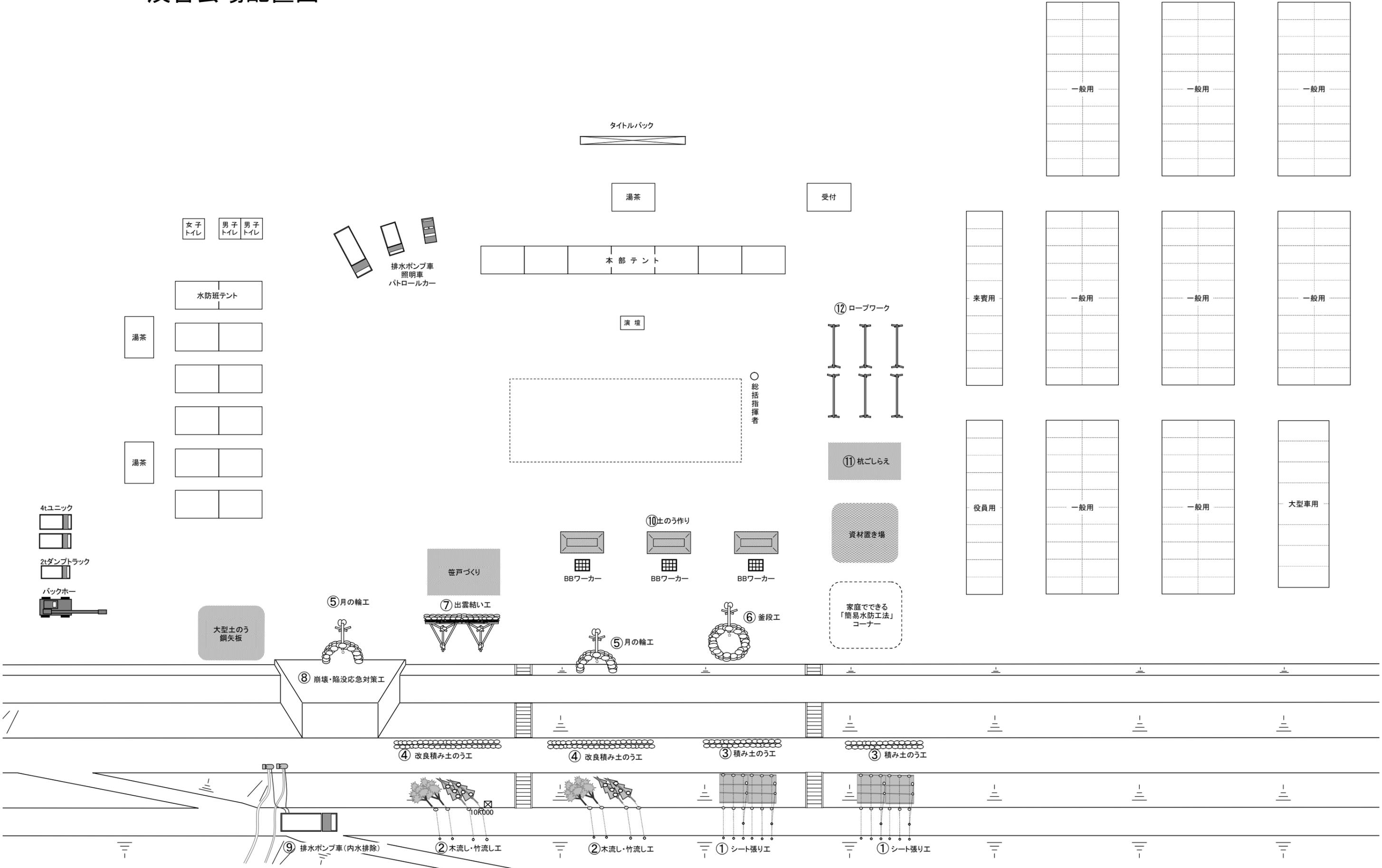
別紙「演習会場位置図」「演習会場配置図」のとおり。

平成22年度 斐伊川水防演習会場案内図



国道9号線からは、大津小学校前交差点を平田方面(県道出雲平田線)に進むか、神立橋西詰から堤防上を平田方面に進入してご来場下さい。
平田方面からは、西代橋北詰から堤防上を出雲方面に進入してご来場ください。

演習会場配置図



タイトルバック

湯茶

受付

本部テント

演壇

○ 総括指揮者

12 ロープワーク

11 杭ごしらえ

資材置き場

家庭でできる「簡易水防工法」コーナー

10 土のう作り

BBワーカー

BBワーカー

BBワーカー

7 出雲結び工

6 釜段工

5 月の輪工

5 月の輪工

8 崩壊・陥没応急対策工

4 改良積み土のう工

4 改良積み土のう工

3 積み土のう工

3 積み土のう工

9 排水ポンプ車(内水排除)

2 木流し・竹流し工

2 木流し・竹流し工

1 シート張り工

1 シート張り工

一般用

一般用

一般用

来賓用

一般用

一般用

一般用

役員用

一般用

一般用

大型車用

女子
トイレ

男子
トイレ

男子
トイレ

水防班テント

湯茶

湯茶

4tユニット

2tダンプトラック

バックホー

大型土のう
鋼矢板